

NEWSLETTER No.91 ISSN 1340-5578 **TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ** The Society for Research in Asiatic Music May 20, 2014

一般社団法人 **東洋音楽学会** **会報** 第**91**号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
 ●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

目次

第65回大会のご案内	1	ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ	5
第65回大会の研究発表募集	3	芸術学関連学会連合公開シンポジウム開催のお知らせ	7
第31回田邊尚雄賞受賞者発表	3	東日本支部からのお知らせ	7
第32回田邊尚雄賞アンケートのお願い	3	東京文化財研究所「研究資料データベース」 リニューアルのお知らせ	7
第4回通常理事会議決事項のお知らせ	3	会員異動	8
メールアドレス変更届けのお願い	4	図書・資料等の受贈	8
選挙管理委員会からのお知らせ	4	新刊書籍	9
会員の受賞	4	新発売視聴覚資料	10
会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど	5	編集後記	10
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ	5	第4回通常理事会添付書類	11
『東洋音楽研究』のインターネット公開について	5		

第65回大会のご案内

一般社団法人東洋音楽学会は、平成26年度の研究発表大会および公開講演会を以下のとおり開催します。どうぞふるってご参加ください。

■日時 平成26年11月22日(土)・23日(日)

■会場 四天王寺大学

[第1日] 羽曳野キャンパス

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1

最寄り駅は近鉄南大阪線 藤井寺駅

藤井寺駅までは、JR天王寺駅(JR新大阪駅より

JRもしくは大阪市営地下鉄にて約25分)に隣接

の近鉄大阪阿部野橋駅より準急にて13分。

四天王寺大学までは、藤井寺駅南口バス乗り場より、

近鉄バス61・71・78系統(四天王寺大学行き)にて約15分

[第2日] 藤井寺駅前キャンパス

近鉄南大阪線 藤井寺駅南口より徒歩約5分

■日程

[第1日] 11月22日(土) 羽曳野キャンパス 大講堂

10:00 四天王寺大学恩頼堂文庫の展覧 [図書館(16:00まで)]

恩頼堂文庫とは、故猪熊信男氏旧蔵の刊本、古典籍約1,500点を集めたもので、仏典や『和漢朗詠集 寛永十八年版』など芸能関係のものが含まれています。後述するように、展覧リクエストを承ります。

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶、第31回田邊尚雄賞授賞式

13:20 再開場

13:30 公開講演会

13:35 講演「四天王寺の聖霊会について」

小野功龍氏(相愛大学名誉教授)

14:00 ラウンドテーブル 司会進行:小野真氏(相愛大学准教授)

四天王寺聖霊会の声明について 近藤静乃(東京芸術大学非常勤講師)

声明の実践者として 南谷恵敬氏(四天王寺執事・法務部長、四天王寺大学客員教授)
付物・附楽の演奏者として 小野功龍氏

14:55 休憩

15:10 公演「四天王寺聖霊会の声明」
声明の実演、付物・附楽その他楽の演奏、映像による聖霊会の紹介
進行 南谷美保(四天王寺大学教授)

16:30 公演終了

16:40 (一社)東洋音楽学会 第3回定時社員総会

17:40 総会終了

18:00 懇親会、田邊尚雄賞受賞祝賀会[6号館ラウンジ]

20:00 懇親会終了

[第2日] 11月23日(日) 藤井寺駅前キャンパス

08:30 受付

09:00 研究発表1、シンポジウムなど

10:30 休憩

10:40 研究発表2、シンポジウムなど

12:10 昼食休憩

13:00 研究発表3、シンポジウムなど

15:00 研究発表4、シンポジウムなど

16:30 閉会の挨拶

※日程とスケジュールはあくまで予定ですので、変更することがあります

■参加費など

参加費 一般事前支払 2,500円 一般当日支払 3,000円
学生事前支払 1,000円 学生当日支払 1,000円
非会員 1,500円(公開講演会は無料)

懇親会費 一般 4,500円、学生 2,500円、非会員 4,500円
お弁当代 1,000円(第2日のみ)

※事前支払の期限は11月11日(火)とする予定です

■恩頼堂文庫の展観リクエストについて

大会第1日目に、会場校である四天王寺大学の図書館で所蔵する恩頼堂文庫の展観をおこないます。この文庫については目録が出版されており、全国の主要な大学図書館におさめられています。

恩頼堂文庫研究会編『恩頼堂文庫分類目録：四天王寺国際仏教大学所蔵』(四天王寺国際仏教大学図書館、2003)

この目録にあるもので展観にてみてみたいものがあれば、期日までに申し出ていただくことによって、史料の状態と数量の許す限り、当日にご覧いただけるよう配慮したいと思います(ただし当日に史料の撮影・複写はできません)。

お申し出は、郵送、FAX、Eメールを問いません。展観リクエストしたい史料について、上記目録の掲載頁と史料名をお知らせください。おってその可否についてお返事します。

郵送先:

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
四天王寺大学 人文社会学部 今田研究室気付
東洋音楽学会第65回大会実行委員会

FAX: 072-956-6011 ※必ず「今田研究室宛」と明記してください

Eメール送信先: tog65ibu@gmail.com ※件名を「展観リクエスト」としてください

申込締切: 2014年9月30日(火) 必着(厳守)

■大会実行委員会

今田健太郎(事務局)、上野暁子、植村幸生(本部経理)、北見真智子、近藤静乃、菌田郁、出口実紀、永原恵三(本部総務)、南谷美保(実行委員長)

第65回大会の研究発表募集

第65回大会における研究発表を下記の要領で募集します。なお、今大会には統一テーマを設けませんので、多彩な内容の発表を期待します。

■発表形態

(A) 個人発表……口頭発表20分+質疑応答10分

(B) 複数人による共同発表あるいは企画……90~120分

(質疑応答等を含む。セッション、討論、シンポジウム等、形態は随意)

■申込方法

1. 以下について明記した書面を、大会実行委員会まで郵送にてお申込みください。そのさい封筒の表面に「東洋音楽学会大会発表申込」と朱で書き込んでください。

題目(Bは発表形態を付記して下さい)

要旨(Aは800字程度、Bは1000字程度)

氏名(Bの場合は、代表者氏名と構成員氏名)

連絡先(住所、電話番号、FAX番号、Eメールアドレス)

使用希望機材

その他の必要事項(Bの場合は希望する時間など)

2. 書面での郵送と同時に、Eメールでも同じ内容のお申込をおこなってください。添付ファイルを用いる場合は、Word書類(.doc)かテキスト書類(.txt)の形式にしてください。

郵送先:

〒583-8501 大阪府羽曳野市学園前3丁目2-1
四天王寺大学 人文社会学部 今田研究室気付
東洋音楽学会第65回大会実行委員会

FAX: 072-956-6011 ※必ず「今田研究室宛」と明記してください

Eメール送信先: tog65ibu@gmail.com

申込締切: 2014年7月7日(月)必着(厳守)

【注意事項】

発表申込が届いた時点で、その旨をEメール/電話/FAXなどで連絡します。発表申込をしながら3日以内にその連絡が届かない場合は、至急、上記の大会実行委員会までお問い合わせください。

3. 採否

締切後、大会実行委員会で査読員(学会員)を含めて審査を行ったうえで決定し、結果を申込者全員に通知します。

第31回 田邊尚雄賞受賞者発表

第31回田邊尚雄賞は、以下のように決定いたしました。

[受賞者・受賞対象]

梶丸 岳

『山歌の民族誌——歌で詞藻を交わす』

2013年3月31日発行、京都: 京都大学学術出版会、

ISBN978-4876982707

[選考経過]

3月9日に開催された第31回田邊尚雄賞選考委員会において、今回推薦された業績と2013年に出版された会員著作の7件について慎重に審議し、上記が選ばれました。

授賞式は本学会第65回大会で行われる予定です。

[授賞理由]

本書は、中国・貴州省のプイ族の山歌(民謡)を対象に、「歌掛け」という相互行為を全方位的に論じた力作である。山歌が歌われる社会的コンテクスト(脈絡)と現代的变化、山歌自体のテキスト(歌詞・旋律・形式・修辭技法)と「掛け合い」での対話のあり方、「歌掛け」の普遍的な身体論と

いう3つの研究領域が示され、巧みな比較の枠組み設定により、プイの「歌掛け」の特質が浮き彫りにされた。とくに声調言語と旋律の結びつきに関する新見がみられた。DVDの添付やフィールドワークの素描も効果的であった。以上独創的な方法と徹底した分析、綿密な例証と考察により、新たな「歌掛け論」ともいべき歌謡生成に関する研究視座を示したことが、高く評価された。

第32回 田邊尚雄賞アンケートのお願い

第32回田邊尚雄賞選考委員会では、同賞の選考にあたり、推薦情報を募集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、皆さまからの積極的なアンケート送付をお願いいたします。自薦他薦は問いません。

選考対象: 2014(平成26)年1月1日~12月31日の発行物

アンケート締切: 2015(平成27)年2月上旬

記入事項: 著者名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。

送り先: 東洋音楽学会第32回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3
三春ビル307号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 金城厚、福岡まどか、横井雅子(以上継続)、
加納マリ、三浦裕子(以上新規)

第4回 通常理事会議決事項のお知らせ

2014年4月6日(日)に東京芸術大学音楽学部大会議室において第4回通常理事会が開催されました。主な議決事項をお知らせいたします。

1) 新入会員について

前回理事会(2013年9月22日)以降に申し込みのあった正会員11名、学生会員4名の入会が正式に承認されました。

2) 平成26年度研究発表大会および公開講演会について

本号の関連記事をご覧ください。

3) 平成26年度事業計画の件

【添付書類1】の通り承認されました。

4) 平成26年度収支予算の件

【添付書類2】の通り承認されました。

5) 第31回田邊尚雄賞受賞者について

本号の関連記事をご覧ください。

6) 第32回田邊尚雄賞選考委員について

金城厚、福岡まどか、横井雅子(以上留任)、加納マリ、三浦裕子(以上新任)の5氏に委嘱することが承認されました。

7) 長期会費滞納者について

2011年度以降の会費を滞納している会員に再度督促をし、5月末までに会費納入のない者を退会扱いとすることが承認されました。

8) 参事委嘱・解嘱等について

本部(総務)参事の下崎久美氏および東日本支部参事の新堀敏乃氏を解嘱し、安原道子氏、江口麗華氏、酒井絵美氏に東日本支部参事を委嘱すること、仲辻真帆参事の担当を東日本支部から本部(総務)に変更することが承認されました。

9) 次期理事定数および各支部委員定数の件

平成25年度に実施する役員選挙における理事定数および各支部委員定数について、理事定数を15名、東日本支部委員定数を11名、西日本支部定数を6名、沖縄支部委員定数を3名とすることが決まりました。

10) 法人改革に伴う諸規程変更について

一般社団法人への移行に伴い、諸規程の文言等の変更について検討し、「基本基金規程」「研究推進事業基金規程」「経理規程」「国内出張旅費規程」「公印管理規則」「支部委員選出内規」「ICTM日本国内委員会運営内規」「田邊尚雄賞基金規程」「田邊尚雄賞実施要領」を改訂承認しました。また新たに「役員交代時の業務の管掌範囲に関する申し合わせ」「各種基金運営委員会内規」「音楽文献目録委員会委員派遣規程」の施行が承認されました。

メールアドレス変更届けのお願い

名簿に掲載の電子メールアドレスが不達で学会からの連絡ができずに戻ってきてしまうことが増えています。電子メールアドレスを変更した場合には、必ず事務局までご一報ください。また、最新版の名簿に掲載されている電子メールアドレスが現在ご使用のものになっているか、ご確認ください。名簿には掲載しないで学会からの連絡用としてのみ届け出る場合には、その旨を届け出時にお書き添えください。

選挙管理委員会からのお知らせ

本年は理事および監事の改選の年にあたります。以下の2点についてお知らせします。

1. 被選挙権の休止の希望について

定款施行細則第13条第4項に「定款に定めるところの役員を通常して8期以上務めた正会員は、選挙の度ごとに本人の希望によりその1期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。また、同第5項に「選挙実施年の9月1日において、満70歳以上の者は、選挙の度ごとに本人の希望によりその1期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。この条件に該当し、かつ休止を希望する正会員は、6月30日(月)までに、下記の東洋音楽学会選挙管理委員会事務局宛に、文書(ファックス、電子メールを含む)にてお申し出ください。

[東洋音楽学会選挙管理委員会事務局]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京芸術大学音楽学部楽理科教員室気付

FAX: 03-5685-7797

E-mail: toyosenkan2014@googlegroups.com

2. 選挙名簿の作成について

選挙管理委員会では、選挙用会員名簿を作成します。名簿には「正会員の姓名」を記載することになっています。つきましては、東洋音楽研究第78号別冊として配布された名簿の記載事項に変更のある方で、まだ届けておられない方は、その変更内容を6月30日(月)までに学会事務局宛に、かならず文書(ファックス、電子メールを含む)にてご連絡くださるようお願いいたします。ご連絡のない場合には、現在事務局にある名簿にしたがって記載することになります。

[2014年度選挙管理委員] 黒川真理恵、小日向英俊(副委員長)、櫻井陽、澤田篤子(委員長)、鳥谷部輝彦

会員の受賞

◇新内剛士さんが文化庁芸術祭賞新人賞を受賞

本学会会員の新内剛士さんが、「新内剛士の会」の成果により、平成25年度文化庁芸術祭賞新人賞(音楽部門)を受賞されました。贈呈式は、2月10日如水会館で行われました。

◇前島美保さんが清栄会奨励賞を受賞

本学会会員の前島美保さんが、平成25年度(第27回)清栄会奨励賞(研究部門)を受賞されました。贈呈式は、2月28日国立劇場にて行われました。

◇梶丸岳さんが徳川宗賢賞(萌芽賞)を受賞

本学会会員の梶丸岳さんが、論文「中国貴州省の掛け合い歌「山歌」におけるコードスイッチング—言語交替と文化復

興のはざままで」(『社会言語科学』第15巻 第2号所収)により、社会言語科学会の2013年度(第13回)徳川宗賢賞(萌芽賞)を受賞されました。

会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど

1. 会費納入のお願い

2013年9月から新しい年度が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払い込みくださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込みください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] 〇一九(ゼロイチキョウ)店 (019)

[当座] 0055723

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』80号(2015年8月刊行予定)の原稿を募集します。投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載されている「投稿規定」および、学会ホームページに掲載

されている「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。

送付先：〒110-0005

東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

一般社団法人 東洋音楽学会事務所内

東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法：プリントアウトした原稿を郵送すること。

ただし、書留郵便にはしないこと。

直接持参、メール添付は受け付けない。

締め切り：2014年12月12日(金) 必着

『東洋音楽研究』のインターネット公開について

1) 機関誌『東洋音楽研究』は、創刊号から73号までの論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評等がすでにインターネット上で公開されています。74号以下についても、発行後3年を経過したものは順次公開していきます。このため、論文等著作の中に写真、画像、楽譜等を使用する場合、掲載許可は、著者の責任においてあらかじめネット公開を念頭に取得していただくようお願いいたします。

2) 2014年は74号のインターネット公開を目指しています。74号掲載の論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評の著者で、写真等の許諾が得られずインターネット公開を差し控える必要がある場合は、8月末日までに、下記宛、メールと文書にてお申し出ください。お申し出なき場合、論文等はそのままインターネット上に公開されます。

〒657-8501

神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学国際文化学研究所 寺内研究室気付

東洋音楽学会機関誌編集委員会

naokotk@kobe-u.ac.jp

ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ

1. ICTM 日本国内委員会運営内規

現在、東洋音楽学会はICTMの日本国内委員会として機能しています。その経緯については、前回の会報(90号)にてご報告しました。2012年度より当学会は、社団法人から一般社団法人に移行し、それに伴って学会の内規を見直す作業を理事会内で進めています。ICTM国内委員会としての当学会

の運営内規が、2014年4月6日の理事会で承認されましたので、ここにご報告させていただきます。

一般社団法人東洋音楽学会
ICTM 日本国内委員会運営内規

(本学会と ICTM との関係)

一般社団法人東洋音楽学会は、ICTM (International Council for Traditional Music 国際伝統音楽学会) の団体会員として登録し、日本国内委員会として機能することで、ICTM と連携する。

(委員長および担当委員の選出)

- 1) ICTM 国内委員会委員長 (以下、委員長) は、原則として東洋音楽学会会長とする。
- 2) 役員改選時に、ICTM 会員の中から ICTM 担当委員 (以下、担当委員) を理事会が選任し、会長が委嘱する。
- 3) 委員長は担当委員を兼務することができる。
- 4) 委員長および担当委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 5) 委員長および担当委員の決定は、改選後最初の学会会報において、会員に通知する。

(委員長および担当委員の任務)

- 6) 委員長および担当委員は協力して東洋音楽学会と ICTM の連携をはかる。
 - 7) 担当委員は以下の業務を担当する。
 - ・ ICTM 本部との渉外
 - ・ ICTM の Bulletin 掲載のための国内委員会の活動に関する定期的な報告書作成
 - ・ 学会会報および機関誌掲載のための ICTM 関連項目の執筆
 - ・ ICTM と学会の連携をはかるために必要なその他の業務
- 平成 26 年 4 月 6 日理事会承認

2. 第43回 ICTM 世界大会のお知らせ

場所：カザフ国立芸術大学 (カザフスタン、アスタナ)

日程：2015年7月16日(木)～22日(水)

発表応募締切：2014年9月30日

発表可否の通知：2014年12月

発表の応募要領、その他詳細は、ICTM のホームページ内 “Events” の見出しのトップにある “2015 ICTM World Conference” (以下 URL) でご覧になれます。

<http://www.ictmusic.org/next-world-conference>

大会テーマ

1. Music and new political geographies in the Turkic speaking world and beyond

2. The creators of music and dance
3. Music, dance, the body, and society
4. Sound environments: From natural and urban spaces to personal listening
5. Visual representation of music culture
6. New Research

プログラム委員長は、現在ケンブリッジ大学の中央アジア音楽センターでディレクターを務める Razia SULTANOVA 氏です。ICTM の世界大会が中央アジアで開催されるのは初めてのことです。多くの会員のみなさまの参加を期待しています。

3. 第4回 ICTM 東アジア音楽研究会シンポジウム、日本開催のお知らせ

場所：奈良教育大学

日程：2014年8月21日(木)～23日(土)

大会実行委員長：寺内直子・劉 麟玉

プログラム委員長：マット・ギラン

テーマ

1. East Asian musics from a cross-cultural perspective
2. Music in digital culture/mass media
3. Music and ritual
4. Restoration and reconstruction of musical traditions
5. Music and gender
6. New research

発表募集は既に締め切られましたが、参加は ICTM 非会員でも可能です。当シンポジウムの詳細については、シンポジウム・ウェブサイト (以下 URL) をご覧ください。

<https://sites.google.com/site/meanara2014/>

4. 第8回 ICTM 音楽とマイノリティー研究会シンポジウム、日本開催のお知らせ

場所：国立民族学博物館

日程：2014年7月18日(金)～24日(木)

大会実行委員長：寺田吉孝

プログラム委員長：Ursula Hemetek

テーマ

1. Cultural policy and minorities
2. Tourism and minorities
3. Gender and sexual minorities
4. New research

発表募集は既に締め切られましたが、参加はICTM 非会員でも可能です。当シンポジウムの詳細については、ICTMの会報 (<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>) 最新号、17~19 頁をご覧ください。シンポジウム連絡先 (ictm2014@idc.minapku.ac.jp) へお問い合わせください。

*その他、日本以外でも様々なICTM 研究会のシンポジウムが予定されています。詳細は、ICTM の会報 (以下 URL) をご覧ください。

(<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>)

5. ICTM の入会申し込みについて

ICTM の世界大会や各研究会 (Study Group) のシンポジウムで研究発表を行うには、ICTM 会員であることが条件になります。入会を希望される方は、下記ウェブサイト (以下 URL) より入会申し込みができます。会費 (年間 60 ユーロ) の納入には PayPal が利用できます。ご不明な点がございましたら、担当委員までご連絡ください。

(<http://www.ictmusic.org/membership/new>)

芸術学関連学会連合公開シンポジウム開催のお知らせ

芸術学関連学会連合では下記の通り第9回公開シンポジウムを開催いたします。藝関連は芸術に関わる 15 の学会の連合組織で、相互の情報交換、公開シンポジウムの開催などの活動を行っています。今回の公開シンポジウムには、東洋音楽学会から、ジェラルド・グローマー氏がパネリストとして参加します。皆様のご参加をお待ちしています。参加は無料です。同連合のウェブサイト <http://geiren.org/> もご参照ください。

「藝術の腐葉土としてのダークサイド」

日時：2014年6月7日(土) 13時30分～17時30分

会場：東京国立近代美術館講堂

(東京都千代田区北の丸公園3-1)

東京メトロ竹橋駅1b出口より徒歩3分

パネリスト：

山本聡美氏 (美術史学会・共立女子大学)

「醜い身体—日本中世仏教絵画における病と死」

ジェラルド・グローマー氏 (東洋音楽学会・山梨大学)

「瞽女—差別と芸能」

栗山裕至氏 (美術科教育学会・佐賀大学)

「子供の造形とダークサイド」

一銀田徹氏 (広島芸術学会・広島大学)

「《ヒロシマのピエタ展》—その成果と課題」

天内大樹氏 (美学会・静岡文化芸術大学)

「震災後の日常—集住と展示」

お問い合わせ先：

日本大学文理学部哲学研究室(芸術学関連学会連合事務局)

電話 03-5317-9702

東日本支部からのお知らせ

◇定例研究会発表募集(12月、2月例会)

東日本支部では、2014年12月7日、2015年2月1日の定例研究会での研究発表を募集しています。

発表を希望される方は、発表種別(研究発表・報告等)、発表題目、要旨(800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先(住所、電話、Fax、E-mail)を明記の上、12月例会については9月20日までに、2月例会については11月20日までに、東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望の提出後1週間を経ても東日本支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル307号

東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : tog.higashi@gmail.com

東京文化財研究所「研究資料データベース」リニューアルのお知らせ

東洋音楽学会宛に、以下のようなお知らせが届きました。どうぞこれまで以上に調査研究にご活用ください。

この度、東京文化財研究所のホームページにおいて公開して参りました「東文研資料検索システム」を、下記のアドレスのとおり、個別のデータベースを統合し横断検索も可能と

なった「研究資料データベース」としてリニューアルいたしました。

<http://www.tobunken.go.jp/archives/>

また、東京文化財研究所が刊行しております『日本美術年鑑』に掲載の「美術界年史」、ならびに「物故者」記事についても、これまで公開していたものをリニューアルし、検索が可能となりました。さらに、東京文化財研究所が保管して参りました美術作品等のガラス原板も新規に公開いたします。

<http://www.tobunken.go.jp/materials/>

会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2013年12月～2014年4月、訂正箇所は下線部)

会員異動は、個人情報保護のため削除しました。

図書・資料等の受贈

(2013年8月～2014年4月、到着順)

- 『東方學會報』No.104 (財)東方学会
『父・バルトーク―息子による大作曲家の思い出』
ペーテル・バルトーク著 村上泰裕訳 スタイルノート
『楽道』8,9,10,11月号 正派邦楽会
『日本伝統音楽研究』第10号
京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター
『阪大音楽学報』第11号 大阪大学音楽学研究室
『日本音楽学会会報』第89号
『音楽学』第59巻1号 日本音楽学会
『能楽資料センター紀要』No.24
武蔵野大学能楽資料センター
『雅楽だより』第35号 雅楽協議会
『おわらの記憶』 おわらを語る会編 桂書房
『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報2012』
『アイヌ民族文化研究センターだより』No.39

『アイヌ語地名を歩く—山田秀三の地名研究から—

2013・夏 根室』(企画展パンフレット)

北海道立アイヌ民族文化研究センター

『楽道』12, 1, 2, 3, 4月号

(公財)正派邦楽会

『東方學會報』No.105

(一財)東方学会

『民俗芸能研究』第55号

民俗芸能学会

『一音成佛』第43号

虚無僧研究会

『雅楽だより』第36,37号

雅楽協議会

『大友宗麟の聞いた violas da arco—西欧擦弦楽器史料から』(キリシタン文化研究会『キリシタン文化研究会会報』

142号抜刷)

神戸樹美著

『The Origin of the Kokyū』(Viola da Gamba Society of America『Journal of the Viola da Gamba Society of America』Vol.47抜刷)

神戸樹美著

『Music, Modernity and Locality in Prewar Japan:

Osaka and Beyond』

Hugh de Ferranti and Alison Tokita著 Ashgate

『アフリカ音楽学の挑戦—伝統と変容の音楽民族誌』

塚田健一著 世界思想社

『ハワイに響くニッポンの歌—ホレホレ節から懐メロ・ブームまで』

中原ゆかり著 人文書院

『研究紀要』XXXIV

エリザベト音楽大学

『演劇映像学』2013

早稲田大学演劇博物館

『音楽学』第59巻2号

日本音楽学会

『アイヌ民族文化研究センターだより』No.40

『研究紀要』第20号

北海道立アイヌ民族文化研究センター

『チワン(壮)族の伝統文化—みんなく映像民族誌第11集』

(DVD)

塚田誠之監修 国立民族学博物館

『美学論究』第二十九編

関西学院大学文学部美学研究室

『演劇映像』第55号

早稲田大学演劇映像学会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『「アリランの歌」覚書〔オンデマンド版〕』

李恢成、水野直樹、岩波書店、13,000円

『伊福部昭の音楽史』

木部与巴仁、春秋社、3,024円

『音楽史と音楽論』

柴田南雄、岩波書店、1,180円

『音楽は愉し：黎明期音盤収集家随想』

野村あらえびず、音楽之友社、2,160円

『オルタナティブロックの社会学』

南田勝也、花伝社、1,836円

『韓流・日流：東アジア文化交流の時代』

山本浄邦、勉誠出版、5,500円

『近代歌舞伎年表 大阪篇〔オンデマンド版〕』

国立劇場近代歌舞伎年表編纂室編、八木書店、225,000円

『義太夫年表 近世篇〔オンデマンド版〕』

義太夫年表近世篇刊行会、八木書店、96,000円

『＜クラシック＞と＜ポピュラー＞：公開演奏会と近代音楽文化の成立』

吉成順、アルテス、2,376円

『クラシックレコードの百年史』

ノーマン・レブレヒト、春秋社、3,888円

『黒御簾音楽にみる歌舞伎の近代』

土田牧子、雄山閣、6,264円

『シャンムーン：雲南省・徳宏タイ劇の世界』

長谷千代子、雄山閣、6,480円

『図説 江戸の表現』

人間文化研究機構 国文学研究資料館、八木書店、12,000円

『＜世界標準＞音楽マーケティング』

高野修平、リットー、1,944円

『魂をゆさぶる歌に出会う』

ウェルズ恵子、岩波書店、820円

『誰も教えてくれなかった本当のポップ・ミュージック論』

市川哲史、シンコーミュージック、1,728円

『ときめきのクラシック：「成熟と若さ」は音楽からの贈り物』

樋口裕一、幻冬舎、1,080円

『ナイアガラに愛をこめて：大龍詠ルーツ探訪の旅』

木村ユタカ、シンコーミュージック、2,160円

『七代目市川團十郎の史的研究』

木村涼、吉川弘文館、7,000円

『日本古代王権と唐物交易』

皆川雅樹、吉川弘文館、9,500円

『日本人とショパン：洋楽導入期のピアノ音楽』

多田純一、アルテス、3,900円

『日本のフォーク完全読本』

シンコーミュージック、2,160円

『東アジアの音楽文化：物語と交流と』

原豊二・劉曉峰、勉誠出版、2,700円

『名曲誕生：時代が生んだクラシック音楽』

小宮正安、山川出版社、1,800円

『モーツァルト家のキャリア教育』

久保田慶一、アルテス、2,376円

『ユネスコ無形文化遺産：壬生の花田植』

新谷尚紀、吉川弘文館、3,300円

『洋楽渡来考再論：箏とキリシタンとの出会い』

皆川達夫、日本キリスト教団出版局、6,912円

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

●CD

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「雅楽」』
VZCG-8511~12、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集 黛敏郎
構成による「東大寺お水取り」』
VZCG-8513~14、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「能・狂
言」』
VZCG-8515~16、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「義太夫」』
VZCG-8517~18、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「歌舞伎
名場面集」』
VZCG-8519~20、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「長唄」』
VZCG-8521~22、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「清元」』
VZCG-8523~24、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「常磐津」』
VZCG-8525~26、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「新内」』
VZCG-8527~28、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「小唄~
梅吉小唄の粹」』
VZCG-8529~30、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「端唄」』
VZCG-8531~32、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「琵琶」』
VZCG-8533~34、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「地歌」』
VZCG-8535~36、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「箏曲」』
VZCG-8537~38、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「尺八」』
VZCG-8539~40、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「春の海
大饗演」』
VZCG-8541~42、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「胡弓」』
VZCG-8543~44、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「太鼓」』
VZCG-8545~46、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「民謡」』
VZCG-8547~48、2,500円

『古典芸能ベストセレクション 名手・名曲・名演集「津軽三
味線」』
VZCG-8549~50、2,500円

『祝傘寿 中山義夫 民踊舞踊振付集』

COCJ-38475、3,800円

『錦風流尺八本曲集成~よみがえる津軽の竹韻』(制作・販
売: 錦風流尺八本曲集成制作委員会、出版: 弘前学院出版会)
3,240円

●DVD

『戸下神楽/宮崎県諸塚村戸下神楽保存会』

VZBG-48~49、4,762円

編集後記

会報第91号をお届けします。この号数を見て、会報の発行が30年に達したことに気がつきました。改めて調べてみると、会報は機関誌の誌面から論文以外の彙報類を移行する形で、1984年5月1日に第1号が発行され、以来、会員に周知すべき情報を収集・編集して年3回の発行が続けられてきました。たとえば、現在も毎号の担当参事が作成している新刊書籍・視聴覚資料の記事も、第1号から掲載されているものです。

今日では、紙媒体の会報と学会ホームページとの連携と役割分担など、この間のメディアの変化に対応した見直しも必要になってきています。しかし、今回ファイルされていた古い会報をたまたま手にして、各時期の学会が抱えていた問題や、各号の担当者の懐かしい顔ぶれが紙面から浮かびました。本号もいずれそうした対象になることを認識しつつ、担当者全員で短期集中の作業を終えたところです。どうぞ隔々までお目通しくださいますように。(塚原康子記)

会報編集委員会

理事: 加藤富美子、塚原康子

参事: 大久保真利子、荻野珠、角優希、橋本かおる、

松本民菜、山口かおり

第4回通常理事会添付書類

【添付書類1】

平成26年度(2014年度)事業計画

(自平成26年(2014年)9月1日

至平成27年(2015年)8月31日)

〔1〕研究発表会および学術講演会の開催(定款第5条1)

(1)公開講演会の実施(定款施行細則第3条1)

- ・日時 2014年11月22日(土)・23日(日)
- ・会場 四天王寺大学
〔第1日〕羽曳野キャンパス
〔第2日〕藤井寺駅前キャンパス
- ・講演「四天王寺の聖霊会について」
講演者：小野功龍氏(相愛大学名誉教授)
- ・ラウンドテーブル 司会進行 小野真氏(相愛大学准教授)
四天王寺聖霊会の声明について 近藤静乃(東京芸術大学非常勤講師)
声明の実践者として 南谷恵敬氏(四天王寺執事・法部部长、四天王寺大学客員教授)
付物・附楽の演奏者として 小野功龍氏
- ・公演「四天王寺聖霊会の声明」
声明の実演、付物・附楽その他楽の演奏、映像による聖霊会の紹介
進行：南谷美保(四天王寺大学教授)

(2)研究発表大会の実施(定款施行細則第3条2)

- ・日時 2014年11月23日
- ・会場 四天王寺大学 藤井寺駅前キャンパス
- ・発表件数 未定

(3)次年度大会の準備

- ・日時 2015年10月または11月(予定)
- ・会場 未定

(4)定例研究会(定款施行細則第3条3)

○東日本支部

- ・回数 6回(第81回～第86回 12・2・3・4・6・7月)
- ・会場 東京芸術大学ほか
- ・内容 研究発表、卒業論文・修士論文・博士論文発表ほか

○西日本支部

- ・回数 4回(第266回～第269回 12・2・5・7月)
- ・会場 国立民族学博物館ほか
- ・内容 研究発表、修士論文・博士論文発表ほか

○沖縄支部

- ・回数 3回(第63回～第65回 1・5・7月)
- ・会場 沖縄県立芸術大学
- ・内容 修論発表ほか

〔2〕学会誌および学術図書の刊行(定款第5条2)

(5)機関誌『東洋音楽研究』の刊行(定款第5条2)

○第80号の編集・刊行

・内容 会員の論文、研究ノート、研究動向、書評・視聴覚資料評・書籍紹介・視聴覚資料紹介ほか

(6)会報の刊行

○『東洋音楽学会会報』

・第92号(2014年9月)、第93号(2015年1月)、第94号(2015年5月)

・内容 会員への諸通知、理事会・総会記録、大会開催案内、大会レポート、図書・視聴覚資料紹介、会員消息

○『東日本支部だより』

・第36号(2014年11月)、第37号(2015年3月)、第38号(2015年6月)

・内容 東日本支部定例研究会の開催案内・報告、会員の声ほか

○『西日本支部だより』

・第78号(2014年9月)、第79号(2015年1月)、第80号(2015年4月)

・内容 西日本支部定例研究会の開催案内・報告、支部会員への諸通知ほか

○『沖縄支部通信』

・第36号(2014年11月)

・内容 定例研究会報告

〔3〕関連学協会との連絡および協力(定款第5条3)

(7)日本学術会議への協力

○日本学術会議協力学術研究団体として協力

(8)音楽文献目録委員会への参加

○会員三名を委員として派遣

(9)国際伝統音楽学会(ICTM)への協力

○日本国内委員会として加盟

(10)芸術学関連学会連合への参加

○会員一名を委員として派遣

〔4〕研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条4)

(11)「田邊尚雄賞」

○第31回田邊尚雄賞の授賞

・日時 2014年11月22日

・受賞者および受賞対象

梶丸岳『山歌の民族誌——歌で詞藻を交わす』(京都大学学術出版会、2013年3月発行)

○第32回田邊尚雄賞の選考と発表(2015年4月予定)

〔5〕研究および調査(定款第5条5)

(12)国内または国外における学術調査および研究
とくになし

〔6〕その他目的を達成するために必要な事項(定款第5条6)

(13)東洋音楽学会ホームページを通して行なう学会情報の提供

(14)独立行政法人科学技術振興機構(JST)電子アーカイブ事業への参加

【添付書類2】

収 支 予 算 書

平成26年9月1日から平成27年8月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,000	15,000	△ 12,000	
基本財産利息収入	3,000	15,000	△ 12,000	
特定資産運用収入	7,000	15,000	△ 8,000	
特定資産利息収入	7,000	15,000	△ 8,000	
入会金収入	0	0	0	
会費収入	5,440,000	5,440,000	0	
正会員会費収入	5,000,000	5,000,000	0	
賛助会員会費収入	200,000	200,000	0	
特別会員会費収入	240,000	240,000	0	
事業収入	1,463,000	1,265,000	198,000	
機関誌発行収入	450,000	450,000	0	
大会広告料収入	600,000	550,000	50,000	
大会参加費収入	210,000	126,000	84,000	
懇親会費収入	180,000	120,000	60,000	
食料費収入	20,000	16,000	4,000	
その他事業収入	3,000	3,000	0	
補助金等収入	0	0	0	
負担金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
雑収入	500	1,000	△ 500	
受取利息収入	500	1,000	△ 500	
雑収入	0	0	0	
他会計振替額	1,230,000	1,210,000	20,000	
本部会計振替収入	1,230,000	1,210,000	20,000	
大会会計振替収入	0	0	0	
東日本支部会計振替収入	0	0	0	
西日本支部会計振替収入	0	0	0	
沖縄支部会計振替収入	0	0	0	
事業活動収入計	8,143,500	7,946,000	197,500	
2. 事業活動支出				
事業費支出	7,128,000	7,003,000	125,000	
給料手当支出	1,250,000	1,500,000	△ 250,000	
臨時雇賃金支出	213,000	228,000	△ 15,000	
法定福利厚生費支出	5,000	5,000	0	
旅費交通費支出	586,000	433,000	153,000	
通信運搬費支出	918,000	940,000	△ 22,000	
消耗什器備品費支出	100,000	0	100,000	
消耗品費支出	68,500	71,000	△ 2,500	
賃借料支出	800,000	800,000	0	
印刷製本費支出	800,000	720,000	80,000	
諸謝金支出	240,000	250,000	△ 10,000	
租税公課支出	0	0	0	
負担金支出	190,000	200,000	△ 10,000	
会議費支出	50,000	60,000	△ 10,000	
広報普及費支出	230,000	200,000	30,000	
田邊尚雄賞関連費支出	170,000	280,000	△ 110,000	
会場運営費支出	50,000	35,000	15,000	
機関誌作成費支出	1,000,000	900,000	100,000	
例会運営費支出	127,000	140,000	△ 13,000	
懇親会費支出	200,000	100,000	100,000	
保険料支出	0	0	0	
事務委託費支出	0	0	0	
食料費支出(雑支出①)	70,000	80,000	△ 10,000	

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
慶弔費支出(雑支出②)	30,000	30,000	0	
手数料支出(雑支出③)	25,000	25,000	0	
雑支出(雑支出④)	5,500	6,000	△ 500	
管理費支出	530,000	510,000	20,000	
事務委託費支出	530,000	510,000	20,000	
他会計振替額	1,230,000	1,210,000	20,000	
本部会計振替額	0	0	0	
大会会計振替額	200,000	200,000	0	
東日本支部会計振替額	560,000	560,000	0	
西日本支部会計振替額	400,000	400,000	0	
沖縄支部会計振替額	70,000	50,000	20,000	
事業活動支出計	8,888,000	8,723,000	165,000	
法人税等の支払額	0	0	0	
事業活動収支差額	△ 744,500	△ 777,000	32,500	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
基本財産取崩収入	0	0	0	
特定基金取崩収入	800,000	830,000	△ 30,000	
田邊尚雄賞基金取崩収入	170,000	280,000	△ 110,000	
研究推進事業基金取崩収入	630,000	550,000	80,000	
固定資産売却収入	0	0	0	
投資有価証券売却収入	0	0	0	
敷金・保証金戻収入	0	0	0	
投資活動収入計	800,000	830,000	△ 30,000	
2. 投資活動支出				
基本財産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
投資有価証券取得支出	0	0	0	
敷金・保証金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	800,000	830,000	△ 30,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	0	0	0	
基金受入収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	0	0	0	
基金返還支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出	△ 55,500	△ 53,000	△ 2,500	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

日本の祭 笛・太鼓名曲集



村山二郎 著

日本の北から南まで、13の地域で
伝承されている民俗芸能曲集。笛・
太鼓・鉦のスコア譜に、一般的に流
通している笛用数字譜を併記。

B5判・96頁
定価(本体2200円+税)
ISBN978-4-276-78082-8

オルフェ・ライブラリー 新版 雅楽入門

増本伎共子 著

音楽選書「雅楽入門」の新装復刻
版。音楽に重点を置いて書かれた
最高の入門書。新たに譜例・図・
表の索引を追加。有名曲「越殿楽」
の解説も充実。

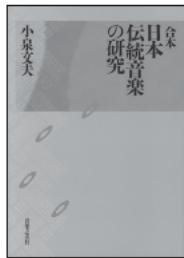
四六判・264頁
定価(本体2400円+税)
ISBN978-4-276-37104-0



合本 日本伝統 音楽の研究

小泉文夫 著

B5判・548頁
定価(本体10000円+税)
ISBN978-4-276-13312-9



日本音楽 基本用語辞典

音楽之友社 編

A5判・192頁
定価(本体1800円+税)
ISBN978-4-276-00182-4

※重版により、定価が変わる場合がございます。予め、ご了承ください。

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30 音楽之友社 TEL 03-3235-2151 FAX 03-3235-2148
<http://www.ongakunotomo.co.jp/>

日本人の心底を貫く神道文化に、音楽(面から
光を当てた、神道音楽の基本資料となる貴重な音源。
一九七六年(昭和五十二年)第三十一回文化庁芸術祭
レコード部門優秀賞受賞作品をCD完全復刻。

神道音楽を以下の三系統に分け、代表的なものを集成。

- ① 神社神道の祝詞・祭祀音楽(宮中祭祀を含む)
神社神道の祭式・大祓詞・十種祓詞【御神楽(みかぐり)幣/阿知女作法
あかがり/其駒【東遊】音出/於振/二歌/駿河歌
- ② 教派神道系の祭典楽
【黒住教の祭典楽】春/管撞/進饗/玉串/神誠奏読/撒饗/明石の浦
湊川【金光教の祭典楽】中正楽第五/天の戸/中正楽第四/奉幣/
音取第四/中正楽第二十/富士の峰【大本の祭典楽】管撞曲/今様/
春の調/五十鈴川/天の敷歌/大和御歌の舞
- ③ 民俗芸能における祭祀音楽
【神楽系】巫女神楽/佐陀神楽/有福神楽/花祭【田楽系】御田植歌/田
植歌/那智田楽/びんざらの舞/比婆開口【祭礼囃子・風流系】登山囃
子/下山囃子/虎舞の囃子/七福神の囃子/葛西囃子/神田囃子/船のお波
りの囃子/やすらい唱歌/龍踊りの囃子/傘鉦の囃子/シャギリ/綱引き歌

吉川英史、藤本壽一、高澤信一郎、倉林正次、蒲生郷昭、蒲生美津子、
西角井正大、小野祖教、梅原猛など、斯界最高執筆陣の解説は、現在
に至るまで唯一の神道音楽概説書として高い価値を保つ。

神道音楽を体系的に集めた唯一の音源集。

監修 吉川英史 構成 藤本壽一

神々の音楽

Music of Shinto

— 神道音楽集成 —

2013年4月24日発売

4CD VZZG-2 (CD4枚+全228頁別冊解説書)
定価 17,143円+税
(原盤提供:株式会社EMIミュージック・ジャパン)

発売元: 公益財団法人日本伝統文化振興財団 販売元: 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
(問) 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会新館2階 TEL: 03-3222-4155 / FAX: 03-3222-1118 <http://www.japo-net.or.jp>